資料６

R6.1.22 総合教育会議資料（学校教育課）

家庭等における学習の充実について

１　スタディサプリ（リクルート社）の導入について

１人１台のタブレット端末を活用し、家庭学習の促進により成果を期待できる学習アプリ「スタディサプリ」の導入を検討している。「個別最適×動画学習」で、市内の児童・生徒の基礎学力の向上と発展的な学習の機会を得られるものと捉えている。

（１）スタディサプリの特徴について

① 講師陣の「講義動画＋AI ドリル」を、「無学年式×複数レベル」で活用し、いつでも・どこでも・何度でも、学びたいポイントを、自分自身の学びたい方式で学習することが可能となり、家庭学習の充実が見込まれる。

② 小学校から高校の学習範囲までカバーされており、個別最適化された家庭学習に活用できる。これにより、下位・中位層に厚みのある本市の生徒の実態に対し、動画による自身のつまずきの「学び直し」の機会の充実と、「AI 分析」によるドリル問題の解き直しの機会が提供できる。また、上位層は次学年以降の先取り学習も可能であり、自己の学びにさらに発展的な学習を加えることができる。

③ 講義動画やＡＩドリルは教科書に準拠しており、本市の掲げる授業改善プランとのマッチングにより、目指す授業像や学びの姿に、「動画」の新しい視点を加えることで、より授業の幅を広げ、主体的で深い学びの実現と、個別最適な学びの実現を図ることができる。

（２）導入の方針

令和６年度は学習アプリ活用事業において、小・中学校でモデル校による検証を行い、令和７年度から全校導入を検討していく。

２　学習塾との連携事業について

進学に実績のある学習塾（河合塾ネクスト）との連携を通して家庭学習の質をさらに高め、最上級学年を迎える中学２年生の学習意欲の向上や、受験期を迎えた中学３年生の学力向上に資する事業とする。

（１）動画配信によるオンデマンド式学習の特徴

① 中学２年生の冬季休業日及び中学３年生の夏季休業日において、専用テキストと YouTube による講義動画の配信を活用した家庭学習を行うことを通して、長期休業期間における家庭学習の支援と受験期における学力向上対策が可能である。

② オンデマンド式の講義動画は、生徒自身の学習進度や克服すべき課題について繰り返し活用することができ、ポイントを絞った質の高い家庭学習や自身の学習時間に合わせた個別学習が可能である。

③ 後期の中間テスト範囲を専用テキストや講義動画に組み入れることで、中間テストに見通しを持ち、学習に計画的、継続的に取り組むことができる。

（２）導入の方針

従来の夏季集中講座、各学校での講義形式の連携事業に変えて、全中学校で YouTube による講義動画の配信を活用した家庭学習を実施する。